

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		04 03 21	中期総合計画主要施策番号		3-04		担当課	部・課	社会部長寿福祉課	
事業名		老人福祉施設等整備事業				内線		2439		
						E-mail		choju@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・社会福祉法人、市町村等が行う特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウス)等の整備に要する経費に助成し、長野県高齢者プランの推進及び施設入居者の安全の確保、居住環境の向上を図る。								
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]								
		・特養等では、多くの入所希望者が生じている。また、老朽化し改築時期に来ている施設や、旧基準により整備され居住環境が十分でない施設が多い。								
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]								
	・高齢化率の上昇とともに、在宅介護が困難な重度の要介護認定者が増加している。									
・補助金単価の削減等により、施設整備を行う法人の負担が重くなっている。										
[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)]										
・法人等の負担軽減と計画的な整備推進のため、老人福祉施設整備への補助が必要である。										
事業内容		老人福祉施設の整備を進める事業者(社会福祉法人、市町村等)に対する補助 (補助率:県単、定額 / H18～一般財源化)								
実施期間		不明 ~		根拠法令等	老人福祉施設等整備事業補助金交付要綱 / 長野県老人福祉計画・第4期介護保険事業支援計画					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	特別養護老人ホーム等入居希望者が低額な負担で入居できるようにする。老朽施設の危険区域からの移転及び入居者の居住環境の向上を図る。第3期長野県高齢者プラン目標(20年度末入所定員) ・特別養護老人ホーム 9,059人 ・介護老人保健施設 7,250人		第3期長野県高齢者プランに基づき、20年度までの特養等の必要数を整備する。 ・20年度整備予定数:特養2か所 ・特養入所定員:20年度末目標 9,059人			・特養2か所の整備に対し助成を行った。 ・特養入所定員は9,037人となり、第3期プランの目標にはわずかに及ばなかったが、今後も第4期プランの目標に沿って計画的な施設整備を進めていく。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	1,027,086	815,216	459,971	国庫・県単 県単			
	決 算 額 (B)		千円	1,042,067	731,947		実施方法 補助			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	1,042,067	731,947	459,971	歳出節別内訳等			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.50	1.50	1.50	・補助金:731,947 (H21への繰越額:83,269)			
	概算人件費 (C)		千円	10,710	10,724	10,724				
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	1,052,777	742,671	470,695	(単位:千円)				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	特別養護老人ホーム開設・改築数		箇所	3	2	0				
	養護老人ホーム改築数		箇所	-	1	3				
	ケアハウス開設数		箇所	-	1	0				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・長野県高齢者プランに基づき必要数を整備している。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		・21年度を初年度とする第4期長野県高齢者プランに基づき、計画的に事業を採択し、施設整備を行っていく。							